

# 令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	68	学校名	仙台市立東四郎丸小学校	校長名	伏見 滋
------	----	-----	-------------	-----	------

## 1 取組のタイトル、テーマ みどりいっぱいプロジェクト



## 2 取組の紹介

### ○ 学校農園の活用

各学年で生活科や総合的な学習の時間と関連づけ、野菜の栽培を行いました。栽培を通して、勤労・生産の喜びを味わうとともに、協力しながら責任を持って仕事をする態度を育てることを目的として活動しました。主に1年生はサツマイモ、3年生は大豆、あおぞら学級は野菜とサツマイモの栽培を行いました。1年生のサツマイモや3年生の大豆は給食の食材に使用し、全校のみんなでおいしく食べたことでいろいろな学年から「おいしかったよ。」と褒められ、生産の喜びが増しました。



### ○ 散策美化活動

地域の一員として美化活動を行おうとする態度を育てることを目的として活動しました。1・6年生は校庭周辺、2～5年生は学校周辺の公園や名取川土手など、発達段階に応じて地域の自然を散策しながら清掃活動を行いました。児童は、友達や教員と確認しながら「燃えるゴミ」「燃えないゴミ」「プラスチック」に分別して回収しました。

### ○ 拡大美化活動

全学年が校内の美化活動を通して自然を大切にしようとする態度を育てることをねらいとし、分担して学校周辺の落ち葉拾いを行いました。はじまりの会は環境委員（児童会）が進行し、円滑に美化活動を進めました。広い校庭に多くの木々がある東四郎丸小学校は、その分落ち葉がたくさんあります。時間いっぱい、全校生が一丸となって学校をきれいにしようとしてがんばりました。また、地域の方々にも協力していただいて活動しました。



## 3 取組の成果（児童生徒の変容）

- ・野菜を育てることで、水やりや雑草取りを自主的に行おうとする緑化意識が高まりました。
- ・落ち葉拾いやゴミ拾いをする中で、お世話になっている方々への感謝の気持ちを持つことができました。また、地域周辺にゴミが落ちていたら自ら拾うなど、きれいにしていこうとする意識も高まりました。
- ・ボランティアで協力くださる地域の方々や異学年の友達と一緒に活動することで交流を深め、緑化活動を通して人と触れ合うことができました。